

施策	7103 市民参画の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	パブリックコメントの実施、まちづくり懇談会の開催等を図る。						
成果指標	まちづくり懇談会等出席者数.....5年間（2018年～2022年）で最終年度に1,500人（現状値1,365人）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [人/年]	予定	1,460.00	1,470.00	1,480.00	1,490.00	1,500.00
		実績	1,365.00	1,039.00	0.00		
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	597,909	545,841	483,116	0	0
実績		515,184	545,841	483,116	0	0	
内部評価	貢献度	基本施策がめざす姿である「適切な市民参画機会の確保」「市民と行政の情報の共有化等」を図ることができ、本基本施策の目標達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	まちづくり懇談会ふれあいトーク及び多世代まちづくり意見交換会を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止となった。					
	課題	出席者の年代性別に偏りがあり、結果、意見や要望も毎年似通ったものとなっている。いろいろな視点からの考えを聞く場を設けることが必要である。					
	取組方針	老若男女が同じ場で同じ課題について意見を交わし合い、より良い市政の方向性を導き出せるような意見交換会の場を設定する。					
外部評価							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	673201	広聴事業費				8,711	100
	670301	市政功労者表彰等事業費				2,427	0
	670601	選挙管理委員会運営費				8,050	0
	670701	選挙啓発費				5,689	0
	670801	市長及び市議会議員選挙費					0
	671201	県知事選挙費				68,124	0
	671301	県議会議員選挙費					0
	671401	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費					0
	671501	参議院議員通常選挙費					0
679101	議員人件費				203,219	0	

単位施策評価表 補表

施策	7103 市民参画の充実		
区分	妥当性	妥当	市民の市政への参画手段として妥当である。
	コスト削減の余地	無	広く市政への参画を呼び掛けていくことが必要であり、コストの削減余地はないと考える。
	受益者負担	適正	市政への参画について、受益者負担を求めるものではない。
	上位貢献度	有効	まちづくり懇談会は市民と行政の協働について有効である。
	類似事業の有無	無	市政に対する意見等を執行部と直接やり取りする事業は他ではやっていない。
	成果向上の余地	有	まちづくり懇談会の出席者は年代別のかたよりがあるので、各年代別の開催を検討する必要がある。
内部評価	貢献度	住民参加の満足度の向上にあたり、まちづくり懇談会の出席者が増えることで、市民の市政への参画を促すことができるため、その貢献度は大きい。	
	達成状況	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、まちづくり懇談会ふれあいトーク並びに広い世代にわたって参加できる意見交換の場、多世代まちづくり意見交換会を予定していたが中止とした。</p> <p>そのため、手紙やホームページから匿名でご意見・ご提案を伺う、ふれあいトーク～お手紙編～を実施して多くの意見をいただいた。いただいたご意見については、市の考え方などを広報とちぎやホームページに掲載するなどして、フィードバックを実施した。</p>	
	課題	まちづくり懇談会の出席者については、年代、性別等に偏りがある。いろいろな世代が様々な視点で提案できる仕組みを検討する必要がある。	
	取組方針	<p>より多くの市民の方がまちづくり懇談会に参加してもらうために、実施後にアンケート調査を行い、開催日数や時間、場所について再検討するほか、各種媒体により参加を呼びかける。</p> <p>また、いろいろな世代が意見・提案できる仕組みを検討するよう努める。</p>	